

むらさきそう

西東京市立田無第一中学校
校長 辻 康一

（住所）西東京市南町6-9-37 （電話）042-462-2811

カラー版はホームページで

URL <https://www.nishitokyo.ed.jp/j-tanashi1/>



逆風を力に変えて進んでいく

ご入学、ご進級おめでとうございます。たった数週間のことですが、小学校の卒業式や3月の修了式に比べて、新たなステージに立った生徒たちは、違ってみえるのではないのでしょうか。さて、新年度のスタートに当たってのお話です。

走り高跳びの練習をしているとします。バーの高さを少しずつ上げながら跳ぶことを繰り返しているうちに、ある高さからは何度挑戦しても跳べなくなってしまいました。そのとき、跳べないのはポールやバーが悪いからだと言いますか？ それともグラウンドの状態が悪いからだと言いますか？ ポールやバーを設置しますか？ そんなことをする人はいないでしょう。それは、うまくいかないことを自分以外のもののせいにしても跳べるようにならないことを知っているからです。その高さを跳べるようになるためには、トレーニングをして筋力を付けたり、正しいフォームを身に付けるために繰り返し反復練習をしたりすることが必要だとわかっているからです。

しかし、これは走り高跳びのことなので、そのように考えられるのかもしれませんが。これが、もし普段の生活の中でのことだったらどうでしょう。自分の思うようにならないとき、困ったり悩んだりしたとき、「走り高跳びが跳べないのは自分の力のせいではなく、器具や環境のせいだ」と考えることはありませんか？ もちろん、自分の力の及ばないところでの悩みは、相談することが大切だと繰り返し伝えてきましたし、それは変わることはありません。

けれども、悩みとか苦しみとかは、それを自分の力で乗り越えようと思わない限り、乗り越えることはできないものです。自分を鍛えたり、工夫したりして挑戦することで乗り越えていく力を付けることも大切なことです。

以前、佐々総合病院の佐々木院長先生とお話ししたときに、「ヨットは逆風を利用して前進する」というお話をされました。ヨットが進むには追い風が一番よいのですが、いつも良い風が吹くとは限りません。向かい風の場合には、一見前に進めないように思いますが、揚力という力を使うことができれば、ジグザグにでも前に進むことができるのです。そのお話を聞いて、私は人生においてさまざまな壁にぶつかっても、工夫を重ね、越えていく方法を身に付け、前に進んでいく力が大切だと改めて実感しました。

誰の心にも弱さや脆(もろ)さがあります。時に人はそれに負けてしまう面ももっています。しかし反対に、それを乗り越え、次に向かっていこうとする強さもあります。生活をしていれば、辛いことも苦しいこともあると思います。そんなときにそれを受け入れつつも、工夫して自分にできる精一杯のことをしていく大切さを忘れないでほしいと思います。

☆4/8 入学式の様子☆ 新入生 176 名が入学しました！



～第79回入学式～



～新入生代表の言葉～



～在校生の校歌～



～中学校生活の始まり～